



まつもと医療センター広報誌

vol. 62 2026.04

Fumoto

特集

武井院長が語る、
まつもと医療センターの未来



武井院長が語る、 まつもと医療センターの未来

まつもと医療センターのこれまで



院長 武井洋一

Question 1

《インタビュアー》

本日はよろしくお願いたします。早速ですが、質問に入らせていただきます。ホームページを見させていただきましたところ、貴院の理念は「いのちの尊さを重んじ、質の高いやさしい医療を提供します」とありました。やさしいという言葉にはどのような思いが込められているのでしょうか。

《院長》

「やさしい医療」とは、「思いやりのある、安心して受けられる医療」のことです。病院に来られる方は、体の不調だけでなく、不安や心配も抱えて受診されています。私たちは、そうした気持ちにも寄り添いながら、身体だけでなく心や生活面の悩みにも向き合い、患者さんに「受診してよかった」と感じていただける医療を目指しています。

当院は、地域の救急医療を担うとともに、がん治療などの専門的な医療や、障がいのある方や神経の病気をもちの方への長期的な医療、結核の診療など、幅広い役割を担っています。救急・急性期から慢性期まで、「治す医療」から「支える医療」まで、さまざまな段階の医療をひとつの病院で提供している「ケアミックス型病院」であることが特徴です。私たちは多様な医療・介護の経験を踏まえ、「病気だけを診る」のではなく、「その人らしさ」まで含めて支える医療を大切に、日々患者さんと向き合っています。

Question 2

《インタビュアー》

医療機関の機能分化が推進されているいま、あえてケアミックス型病院を維持していくことについての、先生のお考えをお聞かせください。

《院長》

まずは当院がケアミックス型病院に至った経緯からお話しします。もともと松本市南部には、松本病院と中信松本病院という役割の異なる二つの国立病院機構病院があり、平成20年に一つの組織として統合されました。その後、約10年にわたり一組織二病院として運営され、平成30年に現在のように村井の地に一体化しました。それぞれの病院が担ってきた医療を引き継いだ結果、当院は救急や急性期医療から、障がいのある方や難病の方を支える医療まで、幅広い医療を提供する病院となりました。

こうした体制には大きな意義があります。例えば、さまざまな患者さんに対応する中で、医療スタッフは多様な経験を積むことができます。特に、高齢の方や障がいのある方への対応は、今後ますます重要になる分野であり、そのノウハウは大きな強みです。また、一人ひとりの状況に合わせて治療方針を考える機会も多く、医療の倫理面について深く考えることにもつながっています。さらに、重症心身障がい病棟に長期入院されている患者さんの高齢化が進む中で、身体疾患の合併も多く、がんなどの治療が必要になるケースも増えていますが、当院では身体疾患に対しても院内で一貫して対応できる点も大きな特長だと考えています。

Question 3

《インタビュアー》

ありがとうございます。地域」という点で、まつもと医療センターは松本市と塩尻市のちょうど間に位置していますね。こうした立地をふまえて、地域の住民や自治体、医療機関などとのような関係性を築いていこうとされていますか。

《院長》

当院は、主に松本市南部から塩尻市を中心とした救急医療・急性期医療を担っています。また、さまざまな分野の専門医が在籍しており、専門的な医療も提供しています。地域でどのような医療が求められているのかを的確に捉え、それに応えていくことが、私たちの大切な役割だと考えています。当院は「地域医療支援病院」として、地域の病院や診療所と連携しながら、より質の高い医療を効率よく提供する役割を担っています。ただ、まだ連携の面で十分とは言えない部分もあるため、今後はさらにスムーズな連携を目指していきます。

また、塩尻市とは2023年に協定を結び、市民の安心安全の向上を目指し、健康づくりや医療体制の充実に向けて協力しています。これまで市民向けの講座なども行ってきましたが、今後はさらに情報発信を強化し、地域の皆さまに信頼される病院を目指していきたいと考えています。

Question 4

《インタビュアー》

では、少し視点を変えて…武井院長個人として、10年後のまつもと医療センターをどのような病院にしていきたいですか。実際には資金や人材など様々な制限があると思いますが、ここは理想といえますか、まつもと医療センターが「こうなったらいいな」という、夢の姿を教えてください。

《院長》

10年後のまつもと医療センターは、さらに利用しやすく、患者さんにやさしい病院へと進化していきたいと考えています。新しい外来棟が整備され、明るく広々とした受付や、車いすでもスムーズに移動できる診察室が整っています。プライベートに配慮した清潔な外来治療室に加え、訪問診療や遠隔診療の体制が充実しています。また、この外来棟は、災害時には地域の被災者を安全に受け入れる防災拠点としての機能も備えます。

さらにデジタル技術の活用が進み、記録作業の効率化や情報共有、診断のサポートが進み、医療スタッフが患者さんと向き合う時間をより多く確保できるようになっているはずです。そうした環境の中で、私たちが目指す「やさしい医療」がしっかりと形になっていることが私の夢です。

Question 5

《インタビュアー》

ありがとうございます。最後に、この記事を読まれる患者さんや地域の皆さまへお伝えするメッセージをお願いします。

《院長》

まつもと医療センターは、地域の皆さまにとって、安心できる拠り所となるよう、職員一同、より良い医療の提供に努めてまいります。今後ともどうぞよろしく願いたします。



WELCOME NEW FACE



コメント

臨床研修医としてまつもと医療センターに入職しました。長野県松本の地域医療に携わる一員として、日々学びながら、皆さまに寄り添い、一人ひとりに向き合う医療を大切にしていきたいと思えます。

臨床研修医

コメント

看護師として入職しました。まつもと医療センターは私の産まれた病院であり、この度看護師として第一歩を踏み出せることに、深い喜びとご縁を感じています。新しい環境に気が引き締まる思いの中、同期と支えあい、先輩方のご指導のもと日々成長していきたいと思えます。よろしくお願いたします。

看護師

コメント

薬剤師としてまつもと医療センターに配属になりました。山に囲まれて空気と水が美味しいこの松本で、薬剤師として働けることに喜びを感じています。安全で適切な薬物治療を提供するため、日々成長できるように頑張ります。

薬剤師

コメント

中国四国グループから契約係長として配置換で参りました。地元は徳島県で、海がある環境で過ごしてきたので高い山に囲まれた風景に感動しております。一生懸命頑張りますのでよろしくお願いたします。

事務

OUTPATIENT INFORMATION

看護専門外来始めました！

看護専門外来とは専門的な知識や技術を持つ看護師が、患者さんやご家族のご病気に関する不安や悩みなどの相談をお受けし、在宅療養の継続が図れるように支援させていただくための外来です。 **当院に通院されている方はどなたでも受診できます。**

皮膚・排泄ケア看護

皮膚・排泄ケアの専門外来では、傷がなかなか治らない、床ずれ(褥瘡)を予防したい、ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の装具トラブルや皮膚のかぶれ、尿もれ・便もれ、頻尿、おむつの種類や使い方など、皮膚や排泄に関するさまざまな悩みに対応しています。

皮膚のトラブルや排泄の悩みは、人に相談しづらく、体だけでなく気持ちへの負担にもつながることがあります。外来では患者さんやご家族と一緒に、その方の生活に合ったケアや対処法をご提案しています。トラブルがある方だけでなく、ご不安や気になることがある方もどうぞお気軽にご相談ください。



がん看護

がんと診断された患者さんやご家族に当院の理念にある質の高いやさしい医療が提供できるよう、多職種と協力し、支援しています。

がん看護を専門とする看護師が、患者さんやご家族の病気や治療に伴うからだや心の辛さ、治療選択の悩み、生活への不安などの困りご事に寄り添います。また、医師やソーシャルワーカーなど多職種と連携し、患者さんが望む生活を一緒に考えます。



糖尿病合併症予防看護

糖尿病に関する専門的な知識と経験を持つ看護師が、患者さん一人ひとりの生活をサポートする外来です。糖尿病の患者さんは、日々の食事や運動の工夫に加え、血糖測定やインスリン注射が必要となることがあります。治療を続ける中でさまざまな心配事や疑問に患者さんの生活スタイルに合わせて、わかりやすく説明します。

糖尿病は、長く付き合っていく病気です。安心して治療が続けられるようサポートします。気軽に相談していただける「心がホッとする場」を医師と連携し提供します。



慢性心不全看護

心不全で治療を受けている患者さんを対象に「心不全看護外来」を行っています。退院後の生活の様子や薬の内服状況、体重・血圧管理などの自己管理の状況を確認しながら、看護相談や生活指導を行います。

患者さんやご家族の不安や疑問にも丁寧に対応し、心不全増悪を予防するためのセルフケア支援を行うとともに、主治医や多職種と連携し、安心して在宅療養を続けられるよう支援します。



EVENT&NEWS

報告



院内コンサート

2月20日に院内にてコンサートを開催しました。「春を呼ぶコンサート」と題して、ピアノ・ソプラノ・チェロの演奏をしていただきました。院内の患者さん、職員がたくさん集まり、春らしい演奏を楽しみました。

報告



職員セミナー

本年度2回目の職員セミナーを開催しました。『職員セミナー』とは、まつもと医療センター職員が職種の枠を超えて参加する1泊2日の研修です。立場や職種の違うメンバーが集まり、知識を深め、アイデアを出し合いました。

報告



お花見研修

4月10日、伊那市にある高遠城址公園でのお花見のイベントを研修の一環で行いました。オリエンテーション会場とは違った雰囲気の中でコミュニケーションをとることによって、より一層親睦を深めることができる貴重な時間となりました。

報告



**新採用
オリエンテーション**

4月1日2日の2日間、新採用者と転入職員を対象にオリエンテーションを行いました。まつもと医療センターの概要を理解し、一員としての基本的知識を身につける目的で、講義を聞いたり、職種に分かれて研修を行います。

MASCOT CHARACTER

アルカ



ある日山に迷い込んだ登山者を手当し、まつもと医療センターへ運んだことをきっかけに看護師として働くことを決意しました。現在、まつもと医療センターで働き、やさしい言葉と温かい笑顔で患者さんを安心させる存在です。



まつもと医療センターの

マスコットキャラクターが

誕生しました!

名前は「アルカ」と「ムライチョー」。
中央アルプ스에서生まれ、仲間たちの傷やつかれを癒す不思議な能力を持っています。



ムライチョー

アルカが登山者を運んだまつもと医療センターで働く医師。おちょこちょいでダジャレ好きだけど医学知識が豊富で腕も確か。アルカたち病院スタッフの悩みに的確にアドバイスし、患者さんを元気づける頼りになる名医(名物医師)です。

診療科目 内科 / 脳神経内科 / 呼吸器内科
/ リハビリテーション科

休診日 土曜日の午後、木曜日、日曜・祝日

TEL 0263-50-4455

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:30 ~ 11:30	●	●	●	×	●	●	×
14:30 ~ 17:30	●	●	●	×	●	×	×

所在地 〒399-0038 松本市小屋南 1-1-10 スプリングオアシス



まつもと医療センター様をはじめとする近隣の病院様と連携し、皆さまの春うららかな毎日を支える存在となるよう、スタッフ一同努めてまいります。
どうぞよろしくお願いたします。



院長 うえの あきひろ
上野 晃弘 先生

皆さま、こんにちは!「うえの内科・脳神経内科クリニック」です。当院では、地域の皆さまがより気軽に相談できるクリニックを目指しています。2026年より、これまでの脳神経内科・リハビリテーション科に加え、呼吸器内科医師が加わり、内科・呼吸器内科も掲げました。

一般内科

風邪や胃腸炎、高血圧・糖尿病・脂質異常症などに加え、健康診断で異常を指摘された場合など、ぜひ気軽にご相談ください。

脳神経内科・リハビリテーション科

頭痛、てんかん、めまい、しびれ、痛み、ふるえ、動きづらさ、物忘れなどを診療しています。パーキンソンや脳卒中後の方も是非お越しください。また、動きの気になる方にはリハビリテーションもご提案します。

呼吸器内科

風邪をはじめ、長引く咳・痰、息切れなどの症状について、診療しています。CTや肺機能検査ができます。健康診断で肺の異常を指摘された場合も、ぜひご相談ください。睡眠時無呼吸症候群の方向けに自宅でできる検査・治療も行っています。

Links まつもと医療センター

公式ホームページ



外来医師担当表



公式Instagram



公式YouTubeチャンネル



情報発信中!

編集後記

例年になく寒かった3月が過ぎて、やっと桜の季節がやってきました。
日本人が桜を好むのは、ぱっと明るいい花が咲いて、短い間に一瞬で散る、そのはかなさを、その潔さを人生に例えているとの説があります。
ここ松本では、烏城である漆黒の松本城をバックにした桜、お堀と桜、一面に桜になる弘法山、北アルプスを背景にした桜と安曇野の田園風景など絵になる風景に事欠きません。今年もまつもと医療センターに華やかな多数の新人さんを迎えました。それとともに本広報誌も「Fumoto」と名前を変えて皆様の前に登場することとなりました。皆様の前に華やかに現れ、桜の花は速やかに散りますが、中に将来の花を蓄えた枝葉と幹のように長年愛されますよう頑張りますので、応援をお願いいたします。(編集長)